
愛の形は十人十色

愛染め

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

愛の形は十人十色

【NZコード】

NZ349P

【作者名】

愛染め

【あらすじ】

一人の愛は、終わりを恐れない。終わりなんてないのだから。

(前書き)

編集版です。

暗い森の中で 少女の歌が響く

とても嬉しいでしたね
どうしたんだい？」

あなたにこそ
お彌が———にしてゐるれ
ど———なの?」

Environ Biol Fish (2007) 79:101–102

一私もさあ?

二人の笑い声が枯れ木を縫うように森に響く。神様も可笑しくなつたのか、森に笑つたような風が吹く。
風に起こされ、地面に待機していた枯葉たちが踊り出す。空中を彩る大舞踏会かのように。

少年は、枯葉につられて少し踊りたくなる。

That's what we dance? My princess?

「森の中で?まるで夢の国の王子様みたいなことを言うのね?」

「そうや、僕は夢の国の王子様だ。そして君は麗しいお姫さま」

一では踊るのが宿命ね。けど音楽がなければ踊れないわ」

「君の歌があれば、足が勝手にステップを踏みはじめるさ」

「あらありがとう、王子様」

褒められた少女はお姫さまになり歌い出す。ビニカで聞いたこのある歌を、爽快な歌を。

青年は王子様になり、お姫さまの踊りをリードする。

そのうち歌に伴奏が入り込み始める。それにあわせて踊る踊るおどる。汚い服を着て、穴のあいたスニーカーを履いて。

ターラッラー？ターラッラー？

お互いの足を踏んでも、枯葉に足を滑らせても、生きていることを忘れて踊る。ボロッちい服もドレスに変わってしまう。そつ。

二人は夢心地。

しかし、そんな夢のような時を過ぎてこる一人にさえも、現実は意地悪をする。

常人よりも疲れることが早くなる病に侵されている少女は、おもいきり踊ると糸が切れた人形のように少年に倒れこむ。

「「めんね、無理をさせちゃったかな？」

息を切らす少女、体にはびっしょり汗をかいている。

「いいえ、大丈夫。このポンコツな体が悪いのよ。もう、早く捨ててしまいたいわ」

彼女の言つ言葉に、つい本音が口走る。

「ポンコツなんかじゃないよ、とてもキレイな体だ。捨てるのがもつたらないぐらいいに」

「けど、普通の人よりも不便で、壊れやすい。…………もつ・・いや」

昔を思い出したのか、少女の顔は夜の闇に溶けてしまった。少年は自分の発言に後悔の念を抱く。

「…………」めん。嫌なことを言つて

「いいわよ、もうこんな悩み事なんて消えてしまふんだから。ほ�行きましょ？なんのためにこんな暗くて怖い所に来たのかわからなくなる前に」

「大丈夫さ。君が忘れてしまつたら、僕が思い出させてあげる」

「どうやって思い出させるの？」

「さあ？キスでもしたら思い出すかな？」

「あはは。ホントに夢の国の王様みたいね」

太陽のような笑顔を、暗闇でもハツキリと目に映しながら一人は森の奥へ、奥へと、オレンジのカーペットの上を歩いて行く。

魔法の眠り薬をポケットの中で握りながら。現実にも何にも邪魔されないために。一人の愛を純粋なものにするために。

一人で歩く。迷わず、最後の道を、何十もの選択肢から見つけた
一人の道を、歩く。

道の途切れた先にはきっと

「愛してる」

(後書き)

お読みいただき、ありがとうございます。愛染めです。

なぜか今回の作品もタイトルに「愛」がついてしまいました。私自身、無意識の内の出来事なので少々驚いております。

今回の作品は、人の数だけ愛があると考え、その中の代表的なものを書いたつもりです。まだまだペーペーですので、読んでいて表現に色がない気がしたらすいません。

感想や評価をしていただくと、私、単純ですのでものすごい喜びます。

この短編を読んで喜んでいただければ、作者としてこれ以上の喜びはありません。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2349p/>

愛の形は十人十色

2010年12月13日20時54分発行